



丹沢大山自然再生委員会との連携



自然観察を通じた普及啓発

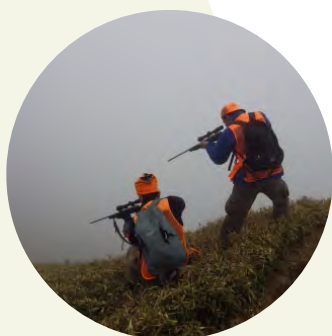
県民協働による
自然再生等の推進

清掃活動



丹沢大山の自然を 再生するために

丹沢大山地域の自然環境や水源林の保全・再生をめざして、事業・普及・企画・研究の各部門が一体となって業務を推進しています。



シカ管理捕獲

自然再生等の
事業の実施



植生保護柵の設置



整備前



整備後

登山道整備・補修



整備前



整備後

人工林の整備



ぜひ自然環境保全センターにもお越しください

展示室では、自然の仕組みや再生の取組みを紹介。丹沢のブナ林を再現したジオラマもあります。

併設の自然観察園と樹木観察園では、身近な自然に親しむこともできます。

アクセス：本厚木駅よりバス（七沢行きなど）35分
「馬場リハビリ入口」で下車、徒歩10分



自然環境保全センターの主な研究課題

自然環境保全センターでは、「多様で豊かな自然環境の保全・再生と活用」を長期目標とし、主に丹沢大山自然再生計画、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画、神奈川県花粉発生源対策10か年計画等の取組みに関連した試験研究・技術開発を推進しています。



大規模ギャップの再生事業検証

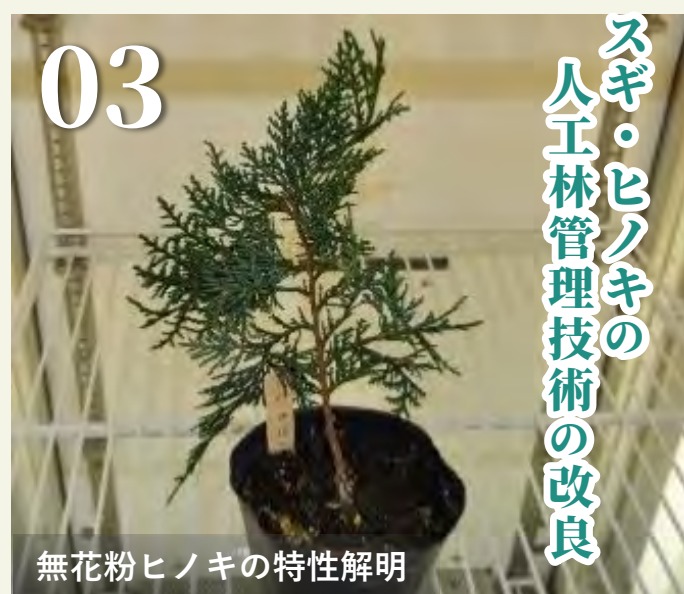


丹沢大山自然再生計画の特定課題のである「ブナ林の再生」について、ブナ林の衰退機構に関する研究成果を踏まえて作成した「ブナ林再生指針」を基に、植生保護柵の設置やシカ管理捕獲等のブナ林再生事業を実施するとともに、その効果検証に取り組んでいます。



水源かん養機能調査

かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、水源の森林づくり事業の施策効果をわかりやすく説明するために、また施策を柔軟に推進するために、水源かん養機能と生物多様性保全機能の評価にかかるとあるモニタリング調査に取り組んでいます。



無花粉ヒノキの特性解明



「神奈川県花粉発生源対策10か年計画」に基づいて、無花粉スギ・ヒノキの苗木生産の効率化と雄花着花量の調査等に取り組んでいます。